

『近未来—日本の可能性』（第14回）』～朝鮮半島、東アジアの5年後と我が国の目覚め～

（基本認識）今年是世界史分水嶺の年。世界は大激動期に入った。戦後77年目。本年2月24日以後は別の歴史時間に入った。明治維新から77年で大東亜戦争終戦。それから丁度77年目が今年。エリザベス女王、ゴルバチョフ、そして我が安倍晋三氏が凶弾に倒れ、国連は機能していない。世界経済も崩壊しつつある。乱世である。戦後77年の延長を未来は許してくれない。今生きている人間が経験していないことが起きる。しかしそれはすべて歴史の中にはあった事だ。安倍元首相は、吉田茂氏の1000倍偉いこと分かる歴史が始まる。

「統一教会との関係？」何を自民党はびくびくしているのか？【国葬】できてよかった。歴史的大正解。

A 政治家は合法ならば勝つために悪と結んでよい。「統一教会」と、結ぶ機会があった事がいけないなら、なぜ日米は、敵である中国共産党と結んだのか？ニクソンは、なぜ訪中したのか？ソ連に勝つためだ。

B 政治に「善」だけなどあり得ない。共産主義は悪だと分かっている、アメリカはソ連と結んで、日独を破った。政治家が「統一教会」と結んで何が悪い。マスメディアに騙されるな。世論調査は信用できないが、マスメディアの「言論暴力」末期症状。

C 今は「世界戦国時代」である。戦国時代に、善や、悪だけの戦国大名は誰かいたか？ 現在も、善だけ、悪だけの国家などここにもない。

D 「統一教会」の「反共」の部分と政治家が結んで何が悪い？

E 反日勢力と一緒にあって日本の保守政治家を叩くのではなく、国民は、今は政治家を守らねばならない。マスメディアは「世界日報」（産経より右の統一教会系出版）をなぜ報道しない？

F ウクライナが必ず、自力で復興できる秘密がある。



『マインドコントロールの恐怖』（ノンフィクションブックス）スティーヴン・ハッサン、Steven Hassan マインドコントロールの本質がわかる。アメリカ「統一教会」。

『国葬やめよ』との裁判が起こされたが、自民党員や、自民党の政治家は、なぜ裁判をおこした連中を「名誉棄損」で逆提訴しなかったのか。相手は「訴えの利益がなくなる」裁判を平気で起こす。閣議決定、政府を守る運動を、マスメディアは報道しない。出鱈目左翼と、出鱈目マスメディアを許すな！保守からの裁判必要。

萩生田氏の「トマホーク」1000発構想。大変宜しい。

早く核武装せよ。ウクライナを見て分からないのか。

すべてに優先して核武装。国民が皆そう思ったら、外国が何と言おうと、日本はやると決意を見せればそれで出来る。そして必ずそうなる。

これで、核武装もせず、日本本土を蹂躪され、ウクライナのような事になるとしたら、日本人は世界一愚かな民族という事になるだろう。アイヌを先住民とする間違った法律は【外患誘致】の動機が隠されている。

政治家に頼らず。国民一人一人が動くしかない。世界的大経済危機が起きる可能性大。

宇宙的な、『日本プログラム』が目覚め始めている。世界史年表の日本を見よ。

（空海的事）安倍元首相の御霊は、すでに。御国を守る守護霊となられ、すでに、その結界が形成されている。

憲法改正。再軍備、核武装（核シェアリング）安倍氏の構想はすべて実現する。実現せねばならない。

2月24日以前と、以後は、世界は違った歴史時間。来年は別の時代に入る。我が国はロシアと「戦争中」である。ロシアは北海道の領有権まで主張。過去77年間「平和条約」を結んでいないのだから、本当だったら、国後、択捉どころか、千島全島、カムチャッカ迄我が国が占領しても、我が国に大義はある。シベリア強制連行、条約違反、日本人への戦争犯罪、1000兆円の賠償を求めても良い。お人好しの日本は今年で終わり。来年から怖い日本になる。

令和5年中に、ロシア共和国、中華人民共和国が消滅しても不思議でない。アメリカが先に滅びないか心配。

早く、新時代への準備を。日英同盟復活は歴史の必然。カナダ、オーストラリアが共和国になるなどおバカ。

核シェアリング、アメリカが断れば、直ちに英国に。ブレグジット以降の英国は、日英同盟を求める。

アメリカは不安定。何が起きるか分からない。例えばカリフォルニアの独立。

- ① 現在は『世界戦国時代』であり、誰が「徳川家康」になるかは決まっていない。日本が徳川家康になる。
- ②天長節2月23日の翌日の、24日に、ロシアがウクライナに侵攻し、一挙に国際情勢は激動期に入った。ウクライナは、核武装を解き、兵力を大幅削減して、日本以上の非武装国家になった顛末がこれ。
- ③「北朝鮮」は、早く我が国が目覚めることを願って、ミサイルを撃ってくれている。我が国が強国になってくれないので、拉致被害者をいまだに返せない。平和条約を結べる状態になっていない。早く核武装してくれと思っている。日本が核武装してあげなければ、北が核を持ったままの半島統一は国際的に許されるはずがない。そもそも、半島戦略はどういうものであるか。北朝鮮は何故ミサイルを撃っているか。我が国が核大国になれば、拉致問題の解決など一瞬。日朝平和友好条約を結んだら、韓国が存在理由がなくなる。日本はびた一文金を払ってはいけない。韓国を日米は北にプレゼントするのだから。それで十分。高句麗存が在した聖徳太子の時代を想起せよ。
- ④ 来年中に重武装国家への変身。核武装。中露の艦隊、我が国回遊をもう許すな。ロシア極東艦隊原因不明の壊滅があっても良い。
- ⑤ チャイナが、ロシアの「特別軍事作戦」と同じことができる法的根拠を整えた。これで台湾侵略は「戦争」ではなく、「軍隊の戦争以外の軍事行動」となった。ウクライナが停戦すれば、来年は「東アジア」が戦場になる。早く、英国、もしくは米国の原子力潜水艦の核シェアリングを。
- ⑥「太陽光パネル」は終わり、『新型原子力発電所』岸田の決定良し。再稼働も重要。核融合炉実現近い。
- ⑦「国家論」がなければ天下はとれない。「維新」、「参政党」は国家論が必要。源平の合戦から現在まで、例外なし。
- ⑧「フジ住宅裁判」と、「ブルーリボン訴訟」、「表現の不自由展 天皇へのヘイト。名古屋での訴訟」
- ⑨「フジ住宅裁判」は、上告を9月9日に最高裁は棄却して、逃げた。安倍氏が生きておられれば逃げられなかったかもしれない。大阪地裁、高裁判決は、「戦時」を一切想定していない。司法は極めて危ない。
- 書店に「ウクライナ、ロシアコーナー」がない。なぜか？
- ⑩「ブルーリボン訴訟」署名10000筆。9月16日(金)裁判があり、結審と言うので、当方は裁判官忌避を申し立てた。
- ⑪「(愛知トリエンナーレの)天皇陛下に向けたヘイト行為を許さない会」の第一回口頭弁論。名古屋地裁。第一回期日が8月10日(水)13時45分からあった。被告は大村知事、津田大介。高須先生たちの運動が頓挫。「表現の不自由展」。神戸展ではブルーリボン、国旗のバッジで入場拒否。「入場の不自由展だ」次回12月19日(月)午後1時15分。名古屋地裁
- ⑫「国旗裁判」田畑さん。日景さん。南木原告で起こす、もうすぐ。大阪高裁裁判長 清水響の訴訟指揮。
- ⑬西暦2040年、我々は日本を完全に再興しおわっており『紀元2700年祭』を盛大に挙行せねばならない。
- ⑭ロシア連邦崩壊後、国連の常任理事国はどうか？ チャイナ共産党崩壊後、国連常任理事国にチャイナの後継国家が就任する事はあってはならない。東アジアの常任理事国は我が国でなければならない。
- ⑮アメリカの『因果応報』はこれから。地霊。カリフォルニア。多言語。「銃、病原菌、鉄」。アメリカはそう長く持たない。我が国は早く目覚めよ。人類の為に。

以下、宇宙論について。

A イーロン・マスク氏も、この世界は「仮想現実」であると考えている。アイデアの世界があると考えの方が、精神は強化される。唯物論は間違っている。(以下は、関連する動画。最近はどんどん増えている)

Yahoo!検索 (動画)

この世界が仮想現実であることの動画



[この世界が仮想現実であることを示す証明式](#)

YouTube - トップランキング

2017/04/01



[この世界が『仮想現実』であることを証明](#)

YouTube - 小泉耕二の未来大学 - DIGITIDE

2020/06/06



[この世界がすでに「仮想現実」である可能性 | WIRED.jp](#)

YouTube - WIRED.jp

2022/04/12

- B 物事は、凡て深く関連していて、その中に決定的な質的変化が起きることがある。我が国は今その時期に来ている。天変地異。世界的リセッション、ロシア、チャイナの激変。習近平第3期目は可能か？
- C 国際宇宙ステーションに人を運搬するのに、ロシアの旧式の「ソユーズ」ロケットしか使えなかった時期には、現在のような、米ロの軍事的対立は起きる可能性はなかった。
- D 「スペースX」社のスペースシャトルが実用化されて、ソユーズは必要なくなった。そしてこの時、米ロ関係に本質的変化が起きた。なお、物資の運搬は、日本のH2ロケットが主体。
- E 今回の「ウクライナ戦争」は必ずNATO側の勝利に終わるが、イーロン・マスク氏の果たした役割は大きい。全地球のあらゆる場所が、ロシア軍の動きは、リアルタイムで宇宙から監視されている。
マスク氏の協力が得られれば、国後、択捉の奪還は容易。普通の国なら考える。武の国日本復活はあるか。
- F 現代の戦争は、軍隊だけでなく、「民間」の技術を総合した、総力戦である。国が戦うのは半分で、あとの半分は、個々人や、企業が、ボランティア的に参戦する事になる。情報戦は、個々人も戦える。チャイナが考える、国家が仕掛ける「超限戦」よりも、個々人が参戦する「超限戦」の方が強い。
「ウクライナ危機」など、我が国の姿勢一つで。初めから起きなかった事は自明。
- G この世界がコンピューターの中で、仮想現実というのは、この世界は神が設計したと考えてもほとんど同じ。世界は近代の「唯物論」の時代から、逆にこの世界は、人間をはるかに超えた存在によって設計され、コントロールされていると考える、『信仰』の時代に戻る。「唯物論」以前の世界観、古代からの普遍的な人間の方が正しかった。コンピューター（ゲーム）の発達で、この世界が「設計された現実」であることを明らかにした。
- H 意識、魂の有りか。魂は、脳に宿るか、心臓に宿るか、それとも。コンピューターを動かすのは誰か？禪。
- I 世界史年表を見て、子供心に、日本だけ違うのは何故、と思わなかったか？日本だけが一本の線。

(以上)

(推薦図書)

- 「日本人だけが知らなかった安倍晋三の真実」(ワニブックス) 西村幸祐
「吉田茂という病」(自由社) 杉原誠四郎 x 波多野澄雄
「統治者フィリップ・ドルー」(高木書房) エドワード・マンデル・ハウス 林千勝 監訳・解説
「世界のニュースを日本人は何も知らない」①②③(ワニブックス) 谷本真由美
「日本をウクライナにさせない」(WAC) 大高未貴 「1945私の満州脱出記」稲毛幸子 (ハート出版)
「裏から見た支那人」(DIRECT) 笠井孝 「空海と密教」(祥伝社黄金文庫) ひろさちや
「財政破綻論の嘘」(経営科学出版) 三橋貴明 韓非子 悪とは何か」(産経セレクト) 加地信行
「マインドコントロールの恐怖」(ノンフィクションブックス) スティーヴン ハッサン
『国連の正体』(DIRECT) 藤井巖喜 「アメリカの小学生が学ぶ歴史教科書」(ジャパンプック) 村田薫
「妻子の死からホームレス支援へ」(アートビレッジ) 石黒大圓
『良心をもたない人々』(草思社文庫) マーサスタウト 「我、国連でかく戦えり」(ワニ・プラス) 藤木俊一
「アメリカの崩壊」(方丈社) 山中泉 「Hanada 大村知事リコール」
「高等科 国史」(ハート出版) 三浦小太郎 「英国諜報員 アシェンデン」(新潮文庫) サマセット・モーム
「親日韓国人ですが、何か？」(悟空出版) WWUK x 呉善花
「地図で見るロシアハンドブック」(原書房) 「逝きし世の面影」(平凡社) 渡辺京二
「太平洋戦争の大嘘」(DIRECT) 藤井巖喜 「銃、病原菌、鉄」。(草思社文庫) ジャレド・ダイヤモンド
「国家の尊厳」「違和感の正体」・「バッシング論」(新潮新書) 先崎彰容
「自立国家日本の作り方」(DIRECT) 北野幸伯 「ケーキの切れない非行少年たち」(新潮新書) 宮口幸治
「ウクライナからの教訓」クライテリオン2022、7月号 『ポリコレの正体』(方丈社) 福田ますみ
(南木が繰り返し推薦する名著)
「ツキの大原則」(現代書林) 西田文郎 「隠れていた宇宙 下」(早川書房) ブライアン・グリーン
その他参考書籍 映画 等 「ライジング・タイガー」DVD 1942年アカデミー賞受賞作 主演 ジョン・ウェイン
・・・アメリカが先に参戦していた事の自白に等しい。
「モロッコ」DVD 1930年 主演 マレーネ・ディートリッヒ主演・・・戦場慰安婦は万国共通。 以上